

足剣連事第02-12号
令和2年5月25日

各団体会長 様
事務責任者 様

足立区剣道連盟
会長 佐藤 清春

全剣連「対人稽古自粛継続のお願い」への対応等について

加盟団体の皆様も家にて自粛され、剣道が出来ず悶々とした日々をお過ごしのことと思います。一日も早く、こども達への指導稽古、相互の稽古等が出来る事を切に希求しております。

5月22日、政府は39県および大阪府・兵庫県・京都府は「緊急事態宣言」が解除されましたが、北海道、東京都および3県は解除見送りとなりました。

(5/22日 東京都知事より「ロードマップ」が示されました。)

都は、段階的な外出自粛・休業要請の緩和、学校の再開などのステップを示した。

	緩和の第1段階	緩和の第2段階	緩和の第3段階
学校、美術館、図書館など	○	○	○
劇場、映画館、学習塾など	×	○	○
遊園地、パチンコ店、ネットカフェなど	×	×	○
ライブハウス、カラオケ店、 <u>スポーツジムなど</u>	×	×	×
イベントの開催規模	50人まで	100人まで	1000人まで
飲食店の営業時間	省略		

以上より、剣道競技の特殊性から蜜閉は克服可なるも、蜜接と蜜集は避けられません。対人稽古等は全面解除にならなければ困難と思われ、且つ3密への対策実施が絶対不可欠と思われます。

(全日本剣道連盟「対人稽古自粛継続のお願い」・全剣連 令和2年5月17日付より要略)

1. 「緊急事態宣言」が解除されました39県についても対人稽古の自粛をお願いします。剣道は「3蜜」に該当する可能性高く、口からの飛沫感染が非常に多いところから、剣道が感染クラスターにならないよう、引き続き「対人稽古の自粛」をお願いします。
2. 対人稽古の自粛勧告解除に当っては感染リスクを大きく低下させる必要があります。現在全日本武道具共同組合と共同で感染を防御する可能性の高い用具の開発あるいは既存用具の改良等を行い、一定の成果があれば対人稽古の自粛勧告解除を行なう予定です。

(当連盟の今後の対応について)

1. 官庁、関係団体の指示により対応するのは勿論ですが、上記全日本剣道連盟の『感染を防御する可能性の高い用具の開発あるいは既存用具の改良等を行い、一定の成果があれば対人稽古の自粛勧告解除を行なう予定です。』により、全剣連の対人稽古の自粛勧告解除なしには剣道稽古再開は社会からも認知されないものと思慮します。
2. 対人稽古の自粛勧告解除後でも、児童の指導では、長期間稽古出来ず身体の基礎体力が相当低下しており基礎から行い徐々に体力回復を待つて対人稽古等を行なうようご注意ください。
3. 一般的な感染症対策や健康管理に心がけてください。①発熱、のどの痛み、咳、倦怠感などの症状ある場合は稽古を避ける。②非接触型体温計にてチェックを行なう。③体育館等に入るときは手指消毒用アルコールによる消毒などを行う。④「3蜜」対策として、稽古場所の窓を開け喚起に努める。稽古を少人数に区分けして稽古し密集を避ける。⑤蜜接・蜜集しないような稽古内容を考える、時間を短縮する。⑥全剣連開発・改良の飛沫飛散防止用具の装着により稽古等を行なう。等々

現段階での考えられる対策を記しましたが、皆様もご検討頂き、何時の日か稽古が出来る日に備えてください。

以上

令和2年5月17日

対人稽古自粛継続のお願い

政府は、39県について新型コロナウイルス感染症に関する「緊急事態宣言」を解除しました。剣道人の皆様、特に感染者が少ない地域の皆様におかれては、これを機に、対人稽古の再開を考えている方もおられるかと存じます。

しかしながら、全日本剣道連盟（以下「全剣連」）としては、引き続き、すべての都道府県において、対人稽古の自粛をお願い申し上げます。

政府は、上記の通り緊急事態宣言を多くの地域で解除しましたが、解除された地域においても「新しい生活様式」の徹底、継続を呼び掛けています。また、新しい生活様式の中では、「3密（密閉、密集、密接）の回避」を求めています。

剣道は、残念ながら「3密」に該当する可能性が高い武道です。そして新型コロナウイルスの感染源となりうる口からの飛沫飛散が非常に多いことも事実です。実際、剣道の稽古を通じて多くの方が新型コロナウイルス感染症に感染した事例もあります。全剣連としては、剣道が感染クラスターにならないように全力で取り組みたいと考えます。このため、上記の通り引き続き「対人稽古の自粛」をお願いするものです。

一方、全剣連は、8月以降の審査会、大会を予定通り実施していく計画ですが、それに先立って、対人稽古自粛勧告を解除し、対人稽古の再開を検討しているところです。

しかし、対人稽古の自粛勧告解除に当たっては、剣道の対人稽古による感染リスクを大きく低下させる必要があります。全剣連は、全日本武道具協同組合殿と共同で、科学的データに裏付けられた感染を防御する可能性の高い用具の開発、あるいは既存用具の改良等を行っているところです。これらについて、一定の成果が得られれば、対人稽古の自粛勧告解除を行う予定です。全剣連としてはできるだけ早く皆様にお知らせできるよう努力してまいりますので、今しばらく、対人稽古の自粛を継続して頂きますようお願い申し上げます。

以上